

福島沖での浮体式洋上風力発電システムの実証研究事業 委託費 令和3年度概算要求額 50.0億円（25.0億円）

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課
03-3501-4031

事業の内容

事業目的・概要

- 東日本大震災からの福島県浜通りの地域経済の復興のため、国・県・地元市町村は一体となって「福島イノベーション・コースト構想」の実現を目指しています。この構想の中で、新たなエネルギー関連産業の創出として、福島沖の浮体式洋上風力発電の実証研究とその事業化による風力発電関連産業の集積が期待されているところです。
- 本事業では、複数の風車と浮体式洋上変電所を順次設置し、世界初の複数基による浮体式洋上風力発電システムの本格的な実証を行い、安全性・信頼性・経済性を検証してきたところです。
- 令和3年度は、実証研究の最終段階として、実証設備の運用・維持管理、漁業との共存策の実施等に取り組むとともに、これまでの実証結果を踏まえた取組を行います。

成果目標

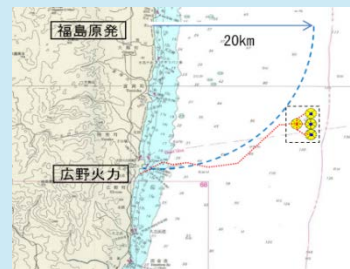
- 本事業では、福島において、県や民間主導による浮体式洋上ウインドファームの実現を目指すとともに、新産業の創出に貢献することを目指します。また、本事業で得られたデータや成果等を公表することで、我が国の洋上風力発電の導入促進に貢献します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

福島沖での浮体式洋上風力発電システムの実証研究事業



平成25年度～



洋上サブステーション搭載
アドバンススーパー浮体
「ふくしま絆」

平成25年度～



2MWダウンウインド風車搭載
コンパクトセミサブ浮体
「ふくしま未来」

洋上における撤去工法の検証



係留解除

曳航
(実証海域
～処分海域)

解体～処分

平成27～30年度



7MW油圧風車搭載
V字型セミサブ浮体
「ふくしま新風」

平成28年度～



5MWダウンウインド風車搭載
アドバンススーパー浮体
「ふくしま浜風」

- 低コストな維持管理及び撤去手法の検討と確立
- 漁業との共存策の検討
- 風況、海象データや成果の発信 等

福島県・民間の取り組み

本格的な浮体式洋上ウインドファームの実現

関連産業の集積
雇用の創出